

<h2>1 総人口</h2> <div style="text-align: right; border: 1px solid red; padding: 2px; color: red; font-weight: bold;">New!</div> <p>◎前年比 -0.7% 19年連続減</p> <p>◎震災前比 H28=93.7 (H22=100.0)</p> <p>○国勢調査の結果（平成22年と平成27年）を比較すると5.7%減少し、全国で2番目に高い減少率であった。 ○平成28年11月1日の推計人口は1,899,486人となり、戦後初めて190万人を下回った。</p>	<p>基準：各年10月1日現在 出典：H22,27年=総務省「国勢調査結果」、その他の年=県統計課「福島県の推計人口」</p> <p>(人) (前年比：%)</p>
<h2>2 人口の移動状況(社会動態)</h2> <p>◎前年比 転入 +6.0% 転出 +5.2% 4年連続転出超過縮小</p> <p>◎震災前比 転入 H27=111.2 転出 H27= 95.2 (H22=100.0)</p> <p>○震災時に大規模な人口流出が生じたが、平成24年以降は転出超過の縮小が続いている。 ○平成27年の転入者数は震災後最多となり、社会動態は震災前である平成22年の△6,627人から4,996人縮小の△1,631人となった。</p>	<p>基準：各年1月1日から12月31日までの計 出典：県統計課「福島県の推計人口(福島県現住人口調査)」</p> <p>(人)</p>
<h2>3 合計特殊出生率</h2> <div style="text-align: right; border: 1px solid red; padding: 2px; color: red; font-weight: bold;">New!</div> <p>◎前年比 ±0.00ポイント 前年から変化なし</p> <p>◎震災前比 H27=103.9 (H22=100.0)</p> <p>○震災以降、平成24年までは下降していたが、平成25年に上昇に転じ、震災前の水準へ回復した。 ○平成25年以降は3年連続で全国を上回っている。</p>	<p>基準：年 出典：厚生労働省「人口動態統計」</p> <p>(合計特殊出生率)</p>
<h2>4 県内総生産</h2> <p>◎経済成長率(前年度比) 名目 +4.5% 実質 +3.9% 3年連続増</p> <p>◎震災前比 名目 H26=108.1 実質 H26=108.8 (H22=100.0)</p> <p>○平成26年度（早期推計）は、建設業をはじめサービス業、製造業などの産出額が増加し、全体として総生産が増加した。 ○経済成長率は名目、実質ともに3年連続のプラスとなっている。</p>	<p>基準：年度 出典：県統計課「福島県県民経済計算」平成26年度は早期推計</p> <p>(億円) (経済成長率：%)</p>
<h2>5 一人当たり県民所得</h2> <p>◎前年度比 +5.2% 3年連続増</p> <p>◎震災前比 H26=115.7 (H22=100.0)</p> <p>○平成24年度から3年連続で大幅増加し、平成26年度（早期推計）は293万2千円となった。 ○また、平成26年度の国を100とした所得水準は102.2となり、国公表データと比較可能な昭和55年度以降、過去最高となった。</p>	<p>基準：年度 出典：県統計課「福島県県民経済計算」平成26年度は早期推計</p> <p>(千円) (前年度比：%)</p>

<h3>6 地域別最低賃金</h3> <p>◎前年度比 +3.0% 13年連続増 ▲</p> <p>◎震災前比 H28=110.5 (H22=100.0) ▲</p> <p>○本県の平成28年度の最低賃金改定額は前年度から21円上昇し、726円となった。 ○現在の表示方式となった平成14年度以降で最大の引上げ幅となったが、全国加重平均額である823円は下回っている。</p>	<p>基準:年度 出典:厚生労働省「地域別最低賃金改定状況」</p> <p>(円) ※時給 (前年度比:%)</p> <p>H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28</p>
<h3>7 新規高卒予定者の求人倍率 New!</h3> <p>◎前年度比 +0.01ポイント ▲</p> <p>◎震災前比 H29.3卒=397.7 (H22.3卒=100.0) ▲</p> <p>○本県の倍率は全国を下回ったものの6年連続で増加しており、平成25年度以降は1.0倍を超過している。 ○求人状況を産業別にみると、製造業、卸売業・小売業、建設業の順に求人数が多くなっている。</p>	<p>基準:各年度9月末現在 各年度末高校卒業予定者における求人数/求職者数 出典:厚生労働省「平成28年度「高校・中学新卒者のハローワーク求人に係る求人・求職状況」取りまとめ」、福島労働局「平成29年3月新規高等学校卒業者の求人・求職状況について」</p> <p>(倍)</p> <p>21.3卒 22.3卒 23.3卒 24.3卒 25.3卒 26.3卒 27.3卒 28.3卒 29.3卒</p>
<h3>8 1等米比率(水稻うるち玄米) New!</h3> <p>◎前年比 +5.1ポイント ▲</p> <p>◎震災前比 H28=127.8 (H22=100.0) ▲</p> <p>○本県の平成28年産水稻うるち玄米の1等米比率(速報値)は5年振りに95%を上回った。 ○本県産米の1等米比率は全国を上回っており、平成28年産米は11.2ポイントの差となっている。</p>	<p>基準:年 出典:農林水産省「米の農産物検査結果」 平成20から27年産米までは翌年10月末日時点の比率。 平成27年産米、平成28年産米の比率は速報値。</p> <p>(%)</p> <p>(年産) H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28</p>
<h3>9 全国新酒鑑評会結果</h3> <p>◎前年度順位比 H26 → H27 1位 → 1位 ▲</p> <p>◎震災前比 H27=1位 (H21=1位) ▲</p> <p>○平成27酒造年度の本県出品の金賞受賞数は18点であった。 ○4年連続で日本一となっており、本県の酒づくりは高い評価を受けている。</p>	<p>基準:酒造年度(7月1日～翌年6月30日) 出典:独立行政法人酒類総合研究所、日本酒造組合中央会「全国新酒鑑評会審査結果」</p> <p>(点) (順位)</p> <p>H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27</p>
<h3>10 メタボリックシンドローム 該当者割合 New!</h3> <p>◎前年度比 +0.6ポイント ▲</p> <p>◎震災前比 H26=112.5 (H22=100.0) ▲</p> <p>○本県は震災前から全国を上回って推移しており、平成22年度以降、年々全国との差が拡大している。 ○平成26年度は震災前の平成22年度から1.9ポイント上昇し、全国との差は2.7ポイントとなった。</p>	<p>基準:年度 出典:厚生労働省「特定健康診査・特定保健指導・メタボリックシンドロームの状況(都道府県別一覧)」</p> <p>(%)</p> <p>H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26</p>

各指標の詳細なデータについては、出典元の各統計をご覧ください。